

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は「第3次大川市男女共同参画計画」の策定にあたり市民の男女平等に関する意識と実態を把握し、今後の施策検討の基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の内容

- (1) 男女平等や女性の地位について
- (2) 家庭について
- (3) 子どもと教育について
- (4) 職業について
- (5) 育児・介護休業制度について
- (6) 介護について
- (7) ワーク・ライフ・バランスについて
- (8) 地域活動について
- (9) 女性の人権について
- (10) 女性の登用等について
- (11) 男女共同参画の推進について

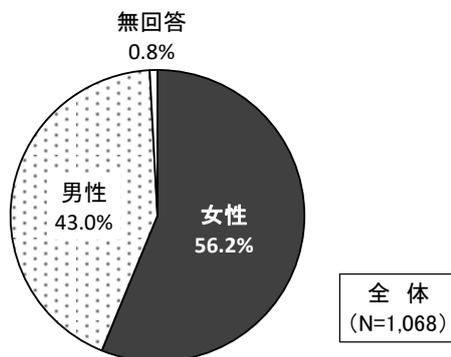
3. 調査の性格

- | | |
|----------------------|---|
| (1) 調査地域 | 大川市内全域 |
| (2) 調査対象者 | 大川市内に居住する20歳以上の男女
2,000サンプル |
| (3) 有効回収数 | 1,068サンプル（有効回収率53.4%） |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳による無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 区長による配布 郵送による回収 |
| (6) 調査時期 | 令和元年11月29日（金）配布
令和元年12月1日（日）～12月16日（月）回収 |
| (7) 調査企画・実施 | 大川市企画課 企画・女性政策係 |
| (8) 調査結果の
分析監修と総括 | 特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所
武藤 桐子 |

I 調査の概要

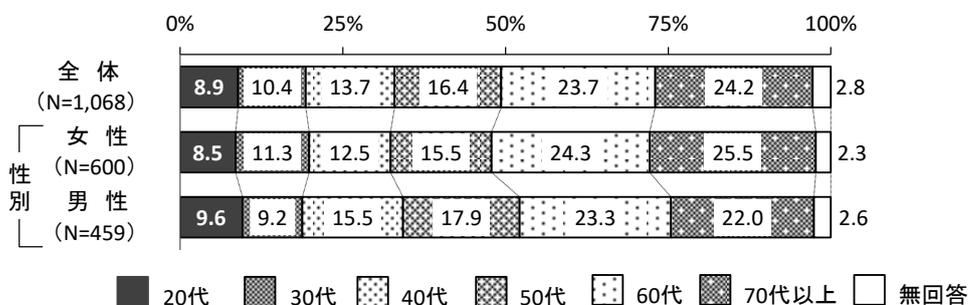
4. 回答者の属性

◎性別



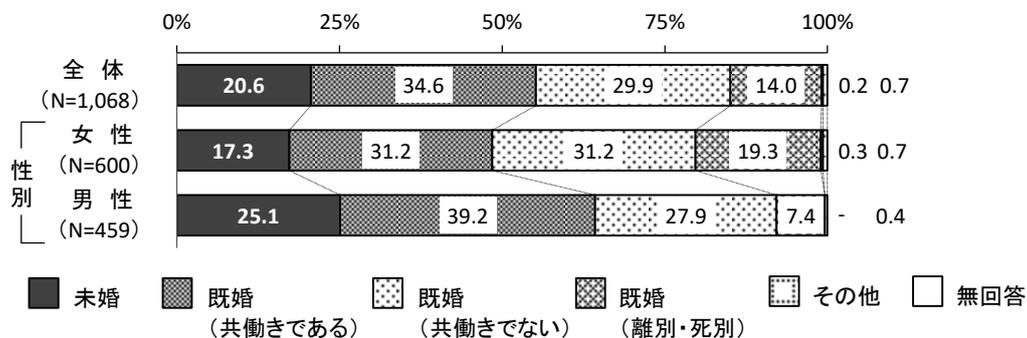
回答者の性別は「女性」が 56.2%、「男性」が 43.0%と女性の回答が 1 割ほど多い。

◎年齢



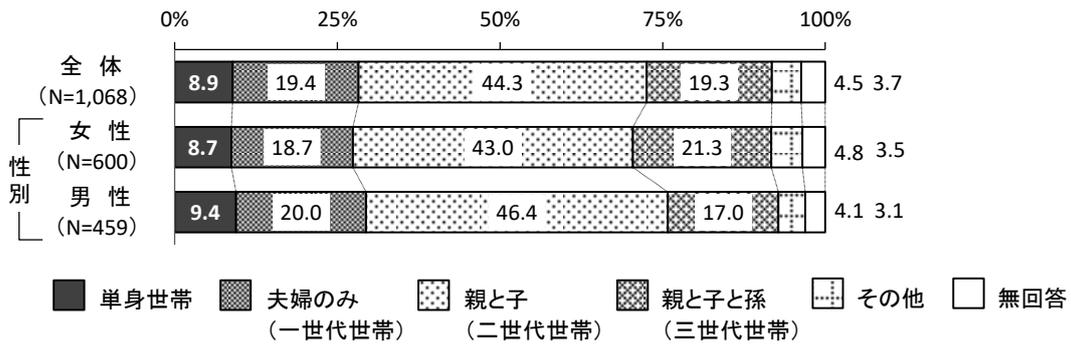
回答者の年齢は、「70 代以上」(24.2%)、「60 代」(23.7%)、「50 代」(16.4%) の順で多く、60 代以上で約 5 割を占めている。性別でもほぼ同様の割合となっており、調査結果をみる場合 60 代以上の意見がやや強く反映された結果となっていることに留意が必要である。

◎婚姻状況



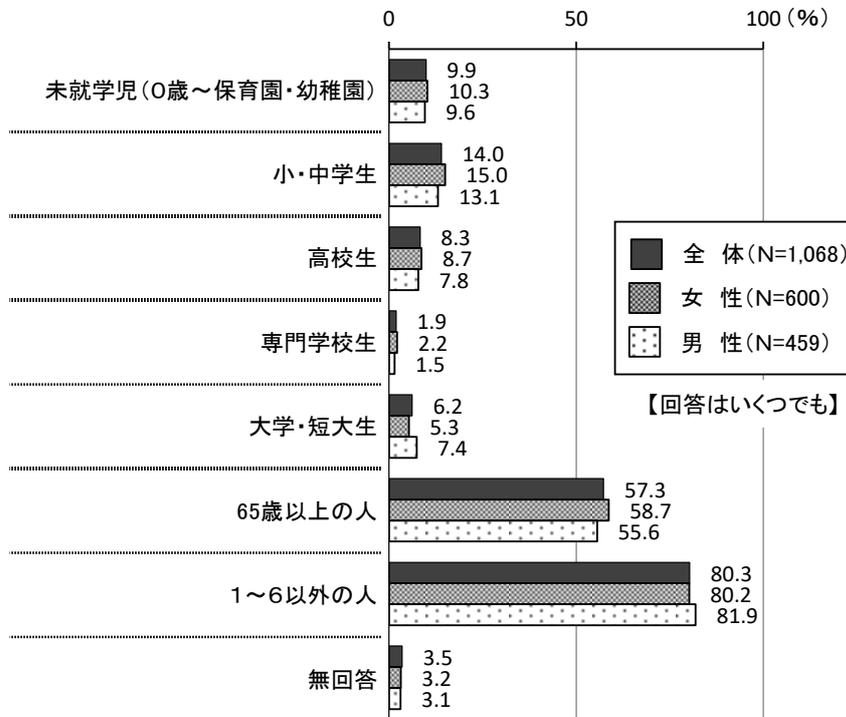
回答者の婚姻状況は、「既婚 (共働きである)」が 34.6%、「既婚 (共働きでない)」が 29.9%、「未婚」が 20.6%、「既婚 (離別・死別)」が 14.0%となっている。

◎同居状況



家族の同居状態は「親と子（二世世代世帯）」が 44.3%と最も多く、次いで「夫婦のみ（一世代世帯）」（19.4%）と「親と子と孫（三世世代世帯）」（19.3%）が各々 2割程度となっている。

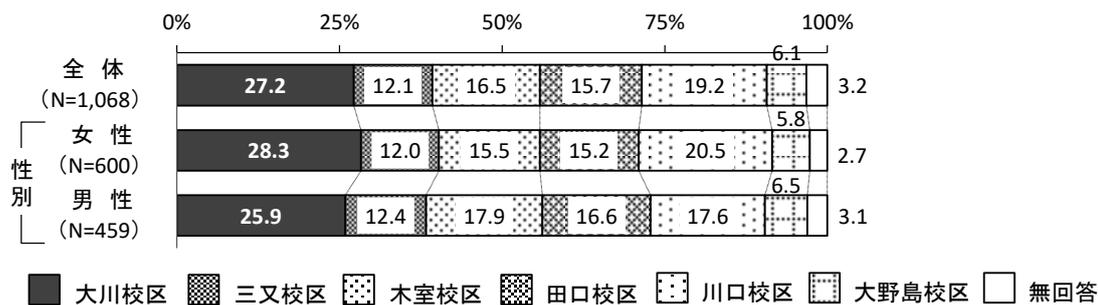
◎同居家族



同居家族は「65歳以上の人」が 57.3%と半数以上を占めている。

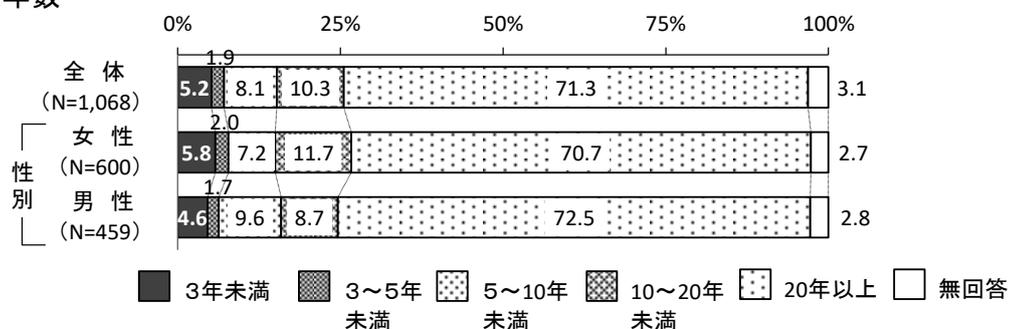
I 調査の概要

◎居住地域



居住地域は「大川校区」が27.2%、「川口校区」が19.2%、「木室校区」が16.5%、「田口校区」が15.7%、「三又校区」が12.1%、「大野島校区」が6.1%となっている。

◎居住年数



居住年数は「20年以上」が71.3%と最も多い。

5. 調査結果利用上の注意

- (1) 数表、図表に示すNは、比率算出上の基数（回答者数）である。数表で、分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の回答者数と合わないことがある。
- (2) 文中の数字は、百分比の小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%とはならない。
- (3) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- (4) 数表中の「-」は、該当する選択肢の回答がないことを示す。
- (5) SQ、SQ○-○は、前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。
- (6) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。
- (7) 今回の調査は、次の調査結果と比較分析を行っている。

大川市 「男女共同参画に関する市民意識調査」平成27年6月実施

福岡県 「男女共同参画社会に向けての意識調査」平成26年12月実施

内閣府 「男女共同参画に関する世論調査」令和元年9月実施

内閣府 「男女間における暴力に関する調査」平成29年12月実施